第16期 報 告 書

2018年4月1日 ▶ 2019年3月31日

サクサ ホールディングス株式会社

証券コード　6675

株　主　各　位

2019年6月27日

東京都港区白金一丁目17番3号NBFプラチナタワー
サクサ ホールディングス株式会社
代表取締役社長　松尾　直樹

第16回定時株主総会決議ご通知

拝啓　平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申しあげます。

さて、本日開催の当社第16回定時株主総会におきまして、下記のとおり報告および決議されましたので、ご通知申しあげます。

敬 具

記

報 告 事 項

1. 第16期(2018年4月1日から2019年3月31日まで)事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
2. 第16期(2018年4月1日から2019年3月31日まで)計算書類報告の件

本件は、上記の内容を報告いたしました。

決 議 事 項

第1号議案　剰余金の配当の件
本件は、原案どおり承認可決されました。
(期末配当は、1株につき50円と決定いたしました。)

第2号議案　当社株式の大量取得行為に関する対応策(買収防衛策)の導入(更新)の件
本件は、原案どおり承認可決されました。

第3号議案　取締役3名選任の件
本件は、原案どおり曽我部敦氏が再任されたほか、新たに片桐勇一郎、竹内佐和子の両氏が選任され、それぞれ就任しました。
なお、片桐勇一郎、竹内佐和子の両氏は、社外取締役であります。

第4号議案　補欠監査役2名選任の件
本件は、原案どおり山崎勇人および高口洋士の両氏が選任されました。
なお、山崎勇人氏は社外監査役清水建成氏の、また、高口洋士氏は社外監査役飯森賢二氏の、それぞれ補欠監査役であります。

以 上

株主の皆様へ

代表取締役社長　松尾　直樹

株主の皆様には、平素より「サクサグループ」に対しまして、格別のご高配、ご支援を賜り厚く御礼申しあげます。

はじめに、このたび、当社連結子会社であるサクサプレシジョン株式会社において、不適切な会計処理が判明したこと、また本事案に関連して、事実関係および決算に与える影響等に関し、当社とは利害関係を有しない外部の専門家から構成される社内調査委員会の調査に時間を要したため、決算発表を延期させていただきましたことにつきまして、株主の皆様には、多大なご迷惑とご心配をおかけしましたことを、心より深くお詫び申しあげます。

当社は、今回の事案を真摯に受け止め、今後このようなことがないよう再発防止策に取組み、皆様からの信頼回復に努めてまいりますので何卒ご理解とご支援を賜りますようお願い申しあげます。

さて、ここに当社第16期(2018年4月1日から2019年3月31日まで)における事業の概況等につきまして、ご報告申しあげます。

当連結会計年度のわが国の経済は、堅調な企業業績を背景に、緩やかな回復基調で推移しましたが、米中の通商政策の対立を発端とした貿易摩擦による世界経済下振れリスクの増大や金融市場の変動による国内経済への影響など、景気の先行きは依然不透明な状況が続いております。

このような経済環境の中で、当企業グループは、「持続成長可能な事業への転換」と「あるべき姿に向けた収益構造への変革」を基本方針とした中期経営計画(2017年度から2019年度までの3か年)を策定し、当連結会計年度においては、最終年度である2019年度の経営目標達成に向け事業構造の再構築と経営基盤の強化に継続して取組んでまいりました。

当連結会計年度の売上高は、OEMキーテレホンシステムの受注減少はありましたが、ネットワーク機器やアミューズメント市場向けの製品および加工受託して

いる部品の受注増加などにより397億5百万円(前年同期比20億2千万円増加)となりました。利益面では、売上の増加に伴う利益の増加に加え、事業効率化に伴う減価償却費の減少などにより、経常利益が19億1千9百万円(前年同期比12億6千5百万円増加)となり、親会社株主に帰属する当期純利益は、11億2千4百万円(前年同期比8億4千3百万円増加)となりました。

しかしながら、当連結会計年度につきましては、利益面では、2018年11月にグループの生産子会社の合併による生産機能の集約により効率化を進めるなど、収益構造の変革を確実に実行したことにより2018年5月11日の公表値以上の利益計上となりましたが、売上高については、キーテレホン市場の想定以上の減速とそれに伴うOEMキーテレホンシステムの受注の減少などにより、前期に対して5.4%伸長にとどまり、公表値を下回る結果となりました。

また、当企業グループの集中事業である映像事業においてキヤノンマーケティングジャパン株式会社と映像ソリューション領域での協業を開始するなど、持続成長可能な事業への転換へ取組んでまいりましたが、IoTデバイスの活用や新しいサービスによる価値の創造など新規事業の創生につきましては、現時点において当企業グループの柱として確立に至っておりません。

これらの状況を鑑みて、中期経営計画の最終年度である2019年度につきましては、経営目標値を修正し、今後目指すべき方向性と取組みを明確にした次期の中期経営計画(2020年度から2022年度の3か年)を策定し、改めてBeyond2020へ向けて邁進してまいります。

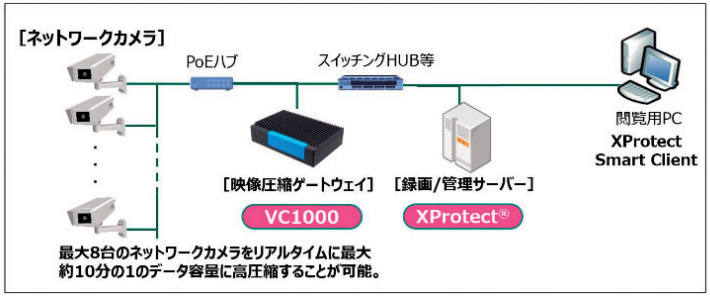
今後とも株主の皆様のご期待にお応えするため、なお一層の努力を重ねてまいる所存でございますので、引続きご支援、ご高配賜りますようお願い申しあげます。

キヤノンマーケティングジャパンとサクサグループが映像ソリューション領域で協業 ～映像管理基盤システムXProtect®と映像圧縮ゲートウェイVC1000の連携システムを発売～

キヤノンマーケティングジャパン株式会社（代表取締役社長：坂田 正弘、以下キヤノンMJ）とサクサグループのサクサ株式会社（代表取締役社長：磯野 文久、以下サクサ）および株式会社システム・ケイ（代表取締役：鳴海 鼓大、以下システム・ケイ）は、このほどネットワークカメラの映像ソリューション事業分野で協業しました。

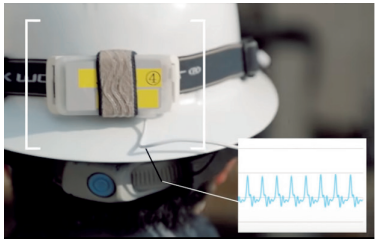
キヤノンMJとサクサ、システム・ケイの三社は具体的な協業の第一弾として、キヤノンMJの映像管理基盤であるビデオ管理ソフトウエア「XProtect®」とサクサの映像圧縮ゲートウェイ「VC1000」を連携させることで、ネットワークカメラで撮影した映像を高画質なままデータ容量を圧縮し、長時間録画やネットワーク環境負荷低減を実現する製品を2019年4月下旬より提供を開始しております。

＜映像圧縮ゲートウェイ概要＞



ケガや事故を未然に防ぐ「生体データ解析システム」について、トンネル工事現場での実証実験に参画 ～IoTデバイスでの生体情報の収集解析による現場の安全と生産性向上～

新規事業創出の取組みとして、IoTデバイスを活用した生体情報の解析から危険現場での作業者の管理を適切に行う「ヘルスケアソリューション」の創生に向け、国土交通省が実施する「建設現場の生産性を飛躍的に向上するための革新的技術の導入・活用に関するプロジェクト」に参画いたしました。



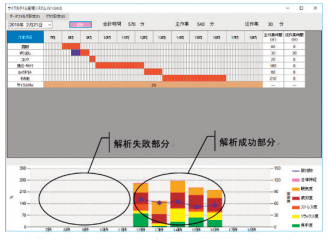


図 サイクルタイム・バイタルグラフ画面 2019 年 2 月 21 日（木）

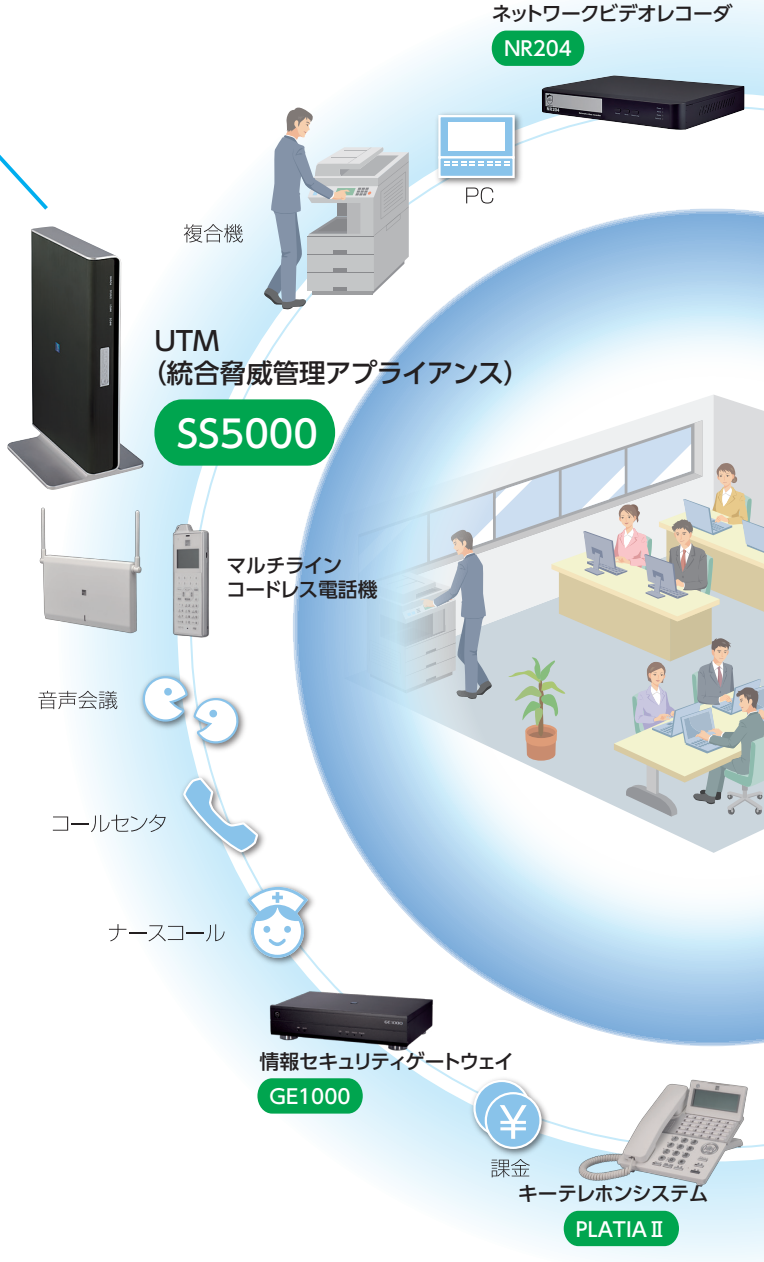
ヘルメットやリストバンドに取り付けられたセンサーから、作業中の生体情報の収集・解析を行い、作業員のストレス度、疲労度などのバイタルコンディションを把握することで体調管理を行い、体調不良による危機の回避や、更なる労働生産性の向上を目指し、新規事業の創出を進めてまいります。

事業拡大に向けた取組み

SS5000 UTM（統合脅威管理アプライアンス）

「SS5000」シリーズは、日本市場に適した製品の提供をコンセプトに、セキュリティ脅威への対応強化に注力しており、特定のWebサイトへのアクセスを規制・制御することができるWebフィルタリングにおいてアルプスシステムインテグレーション株式会社のURLデータベースを採用しております。また、アンチウイルスエンジンに加え、スパムメールエンジンについても世界トップレベルであるエンジンを採用することで、これまで以上にセキュリティを強化しております。さらに、これまでの「メール添付ファイル自動暗号化機能」に加え、「メール誤送信防止機能」を追加することで、メールによる情報漏えい防止を強化しております。

2017年12月の発売以降、お客様のセキュリティ意識の高まりから好評を博しております。



GF1000

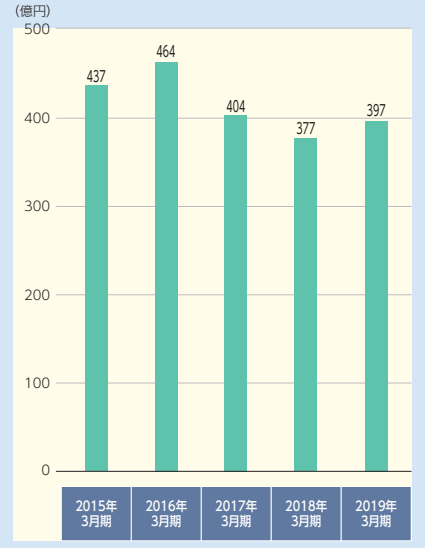
「GF1000」は、働き方改革実現のために何から手を付けて良いかわからないお客様に、「過去に蓄積されたデータの活用」、「場所を選ばない働き方の促進」、「適切な情報セキュリティ対策」をポイントに、データファイルの共有、管理や文書の作成、利活用といった場所や時間に囚われない働き方の具体的なアクションを可能にします。また、利便性が向上するとともに不安となる情報セキュリティの確保や適切な労務管理も行うことができるファイルサーバです。

Office AGENT

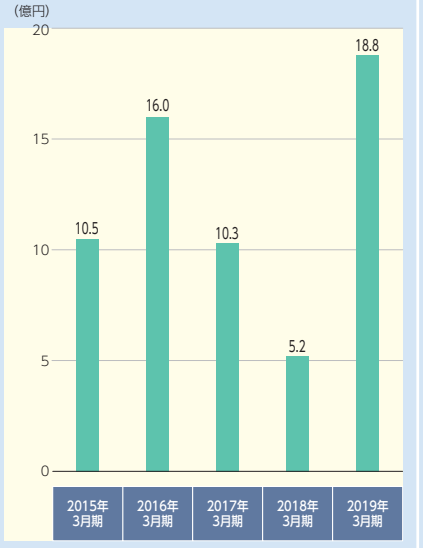
サクサの「Office AGENT」シリーズは、サクサが情報システム部門のない中小規模オフィス向けにご提供する、オフィス運営代理人システムです。サクサのオフィスソリューション提供ノウハウを集結し、ネットワーク商材を連携させることで、お客様の「お困りごと」をスピーディに解決いたします。

連結業績ハイライト

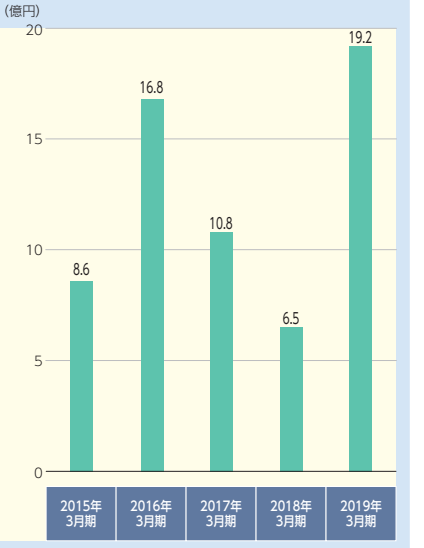
売上高



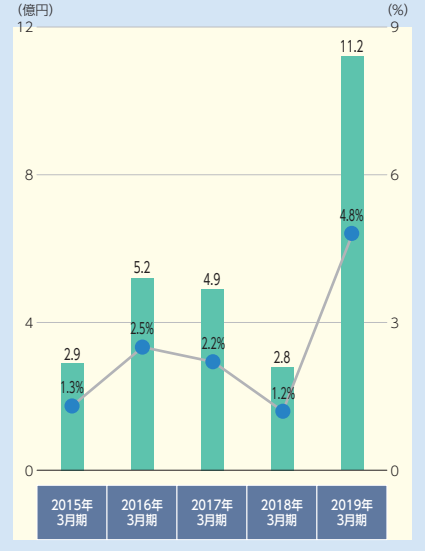
営業利益



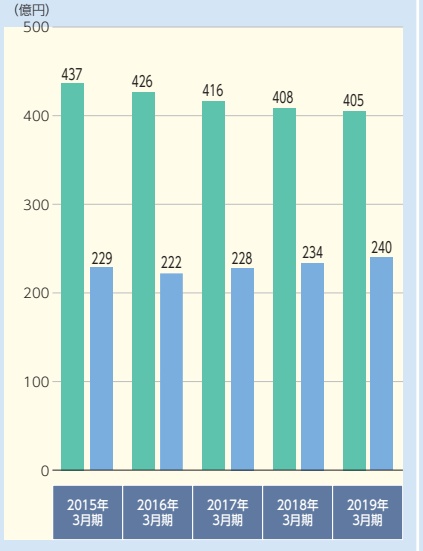
経常利益



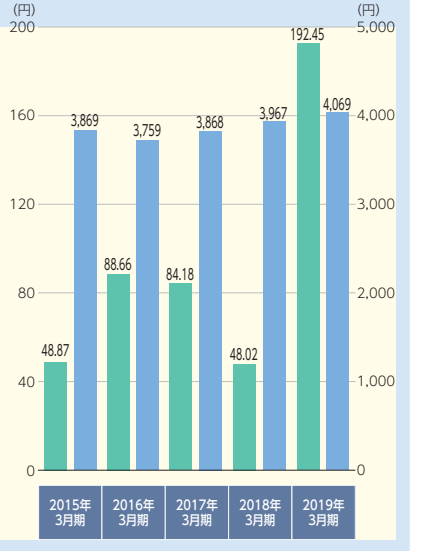
親会社株主に帰属する当期純利益　●ROE



総資産　純資産



1株当たり当期純利益（左目盛）　1株当たり純資産（右目盛）



※ 2017年10月1日を効力発生日として当社普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施いたしました。2015年3月期（第12期）の期首に当該併合が行われたと仮定し、「1株当たり当期純利益」および「1株当たり純資産」を算定しております。

連結財務諸表(要約)

●連結貸借対照表

(単位:百万円)

科　目	前期末 (2018年3月期)	当期末 (2019年3月期)
(資産の部)		
流動資産	23,439	23,392
固定資産	17,358	17,155
有形固定資産	9,395	9,205
無形固定資産	2,232	2,333
投資その他の資産	5,729	5,615
繰延資産	0	—
資産合計	40,798	40,547
(負債の部)		
流動負債	12,013	11,107
固定負債	5,416	5,478
負債合計	17,430	16,585
(純資産の部)		
株主資本	21,944	22,891
資本金	10,836	10,836
資本剰余金	6,023	6,023
利益剰余金	6,330	7,279
自己株式	△1,245	△1,247
その他の包括利益累計額	1,236	874
非支配株主持分	186	196
純資産合計	23,367	23,961
負債純資産合計	40,798	40,547

●連結損益計算書

(単位:百万円)

科　目	前期 (2018年3月期)	当期 (2019年3月期)
売上高	37,684	39,705
売上原価	28,209	28,917
売上総利益	9,474	10,788
販売費及び一般管理費	8,958	8,908
営業利益	516	1,879
営業外収益	243	197
営業外費用	106	158
経常利益	653	1,919
特別利益	18	0
特別損失	101	276
税金等調整前当期純利益	570	1,643
法人税等	267	501
当期純利益	303	1,141
非支配株主に帰属する当期純利益	22	17
親会社株主に帰属する当期純利益	280	1,124

●連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科　目	前期 (2018年3月期)	当期 (2019年3月期)
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,190	2,784
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,006	△2,001
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,667	△1,403
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4	0
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	△489	△621
現金及び現金同等物の期首残高	8,310	7,821
現金及び現金同等物の期末残高	7,821	7,199

●連結包括利益計算書

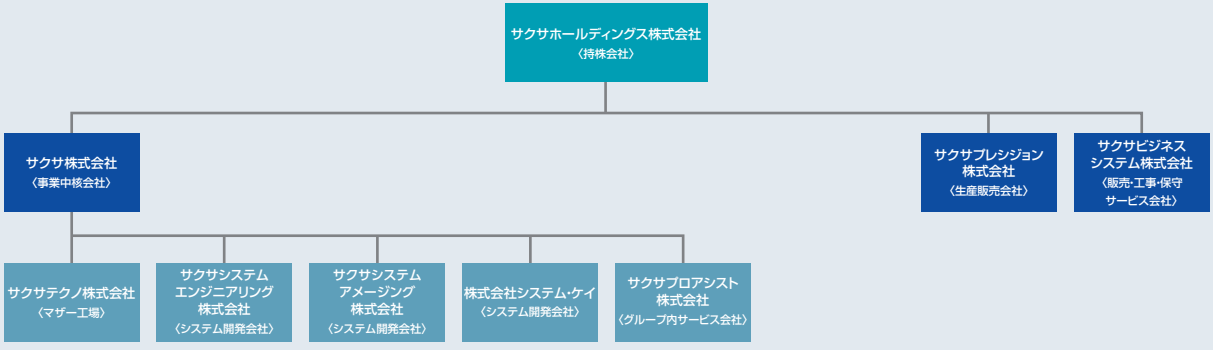
(単位:百万円)

科　目	前期 (2018年3月期)	当期 (2019年3月期)
当期純利益	303	1,141
その他の包括利益	593	△363
包括利益	896	778

※連結財務諸表の各数値については、表示単位未満を切捨てて表示しております。

グループ会社および当社の概要

● サクサグループ(9社) (2019年4月1日現在)



● サクサ ホールディングス株式会社 (2019年3月31日現在)

設立年月日 2004年2月2日

資 本 金 10,836,678,400円

従業員数 1,131名(連結)、40名(単独)

本 社 東京都港区白金一丁目17番3号 NBFプラチナタワー

事業内容 情報通信システムの機器および部品の開発、製造および販売を主として行う子会社の経営管理等

取締役および監査役 (2019年6月27日現在)

代表取締役社長 松尾 直樹	取締役 曽我部 敦	常勤監査役 江藤 進
代表取締役副社長 磯野 文久(昇任)	取締役 丸井 武士	監査役 梅津 光男
常務取締役 大坂 貢	取締役 山本 秀男	監査役 飯森 賢二
取締役 中村 耕児	取締役 片桐 勇一郎(新任)	監査役 清水 建成
取締役 井上 洋一	取締役 竹内 佐和子(新任)	

※1. 山本秀男、片桐勇一郎および竹内佐和子の３氏は、社外取締役であります。また、山本秀男および竹内佐和子の両氏を株式会社東京証券取引所が定める独立役員として指定し、届け出ております。

※2. 飯森賢二および清水建成の両氏は、社外監査役であります。また、両氏を株式会社東京証券取引所が定める独立役員として指定し、届け出ております。

株式情報（2019年3月31日現在）

株式の状況

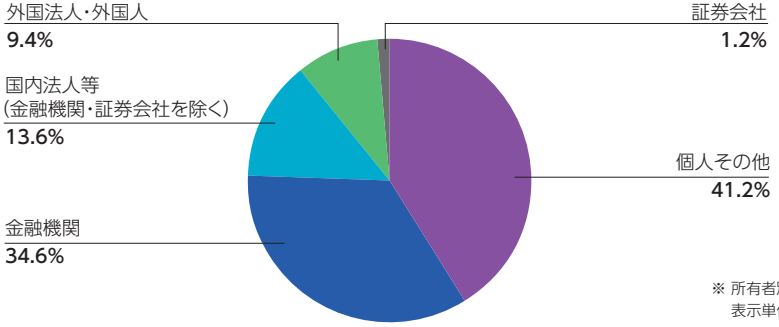
- 発行可能株式総数 …… 24,000,000株
- 発行済株式の総数 …… 6,244,962株
- 株主数 …… 5,554名

大株主

株主名	持株数	持株比率
沖電気工業株式会社	814千株	13.9%
日本電気株式会社	236千株	4.0%
株式会社みずほ銀行	233千株	4.0%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	188千株	3.2%
株式会社三井住友銀行	176千株	3.0%
水元　公仁	169千株	2.8%
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	168千株	2.8%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	131千株	2.2%
サクサグループ従業員持株会	98千株	1.6%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口5）	98千株	1.6%

※1. 当社は、自己株式403千株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。
※2. 持株比率は発行済株式の総数から自己株式数を控除して計算しております。
※3. 沖電気工業株式会社の持株数には、沖電気工業株式会社が退職給付信託の信託財産として拠出している当社株式605千株を含んでおります。
（株主名簿上の名義は、「みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 沖電気工業口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社」であります。）
※4. 株式会社みずほ銀行の持株数には、株式会社みずほ銀行が退職給付信託の信託財産として拠出している当社株式177千株を含んでおります。
（株主名簿上の名義は、「みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社」であります。）
※5. 持株数については、表示単位未満を切り捨て、持株比率については、表示単位未満を四捨五入しております。

所有者別分布状況



※ 所有者別分布状況に記載の数値については、表示単位未満を四捨五入しております。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで	
期末配当の基準日	3月31日	
定時株主総会	6月	
基準日	3月31日 その他、必要があるときは、あらかじめ公告して定める日とします。	
公告掲載URL	https://www.saxa.co.jp/ ※ 当社の公告の方法は、電子公告としております。ただし、事故その他やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。	
	証券会社に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問合せ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9：00～17：00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金受取り方法の変更等)		みずほ証券 本店および全国各支店 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗) みずほ信託銀行 本店および全国各支店
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行　本店および全国各支店 みずほ銀行　本店および全国各支店	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問合せ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。みずほ証券で単元未満株式の買増請求手続きをされる場合は、事前にみずほ信託銀行が指定する口座に送金していただく必要があります。

UD FONT

VEGETABLE OIL INK